

カラマツ間伐材を利用したクリタケ栽培

1 研究のねらい

利用されずに林内に放置されているカラマツの間伐材を利用したクリタケ栽培技術を開発する。

2 研究方法と結果

- (1) 予備試験：カラマツ間伐材を原木として数種のキノコを植菌し、3年間の発生量を比較した。
- (2) クリタケ栽培試験：カラマツとコナラ原木（11月下旬伐採）にクリタケを植菌、ほだ化し、3年間の発生量を調査した。

- (3) 試験結果：予備試験ではクリタケが18kg（ほだ木1m³当たり）発生し、他のキノコの発生は極めて少なかった。クリタケ栽培試験では、植菌翌年から3年間の合計で、コナラ、カラマツとも17kg（ほだ木1m³当たり）とほぼ同量が発生した。

3 成果と今後の進め方

カラマツ間伐材を原木としたクリタケ栽培の可能性が明らかになった。

現在、植菌方法、ほだ化促進、伏込方法などの追試験を行っている。

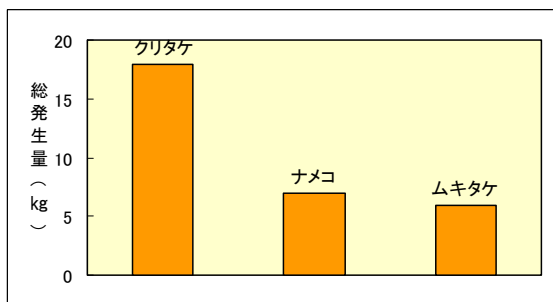


図1 カラマツを原木としたキノコ総発生量 (1m³当たり 3年間)

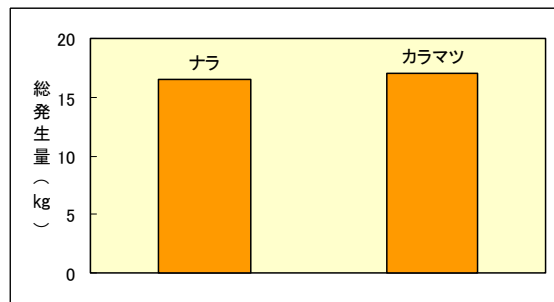


図2 クリタケの総発生量 (1m³当たり 3年間)



カラマツほだ木に発生したクリタケ



カラマツ原木

(担当 特用林産部 専門研究員 小原 孝文)

連絡先

028-3623 岩手県紫波郡矢巾町大字煙山第三地割字清水 560-11 TEL 019-697-1536
 岩手県林業技術センター FAX 019-697-1410
 ホームページアドレス <http://www.pref.iwate.jp/~hp1017/>